

虎穴に入らずんば!?

副会長 福崎 聖子 (54期)

主な担当業務: 法律相談センター、リーガルアクセスセンター、消費者、公設事務所、市民会議、性平等、男女共同参画、民事司法改革、民訴、広報、法教育、健保組合、東弁協、国民年金等



1 「虎に翼」と「べんとらー」に始まった本年度

何と言っても本年度は、記念すべき女性初の淵上玲子日弁連会長が誕生した年である。また奇しくも4月からは女性法曹のあけぼの、三淵嘉子さんをモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」が放送を開始、更に当会では昨年度末に公式キャラクター「べんとらー」が誕生と何かと世間の注目がトラに～否、法曹界に集まる年度の幕開けとなった。

2 学びとやりがいの日々

そんな中、私は有難いことに「大変でしょう」と沢山の皆様方から労いの言葉を頂くが、実は今、本当に楽しい日々を過ごさせていただいている。勿論、驚くような事件や「はて？」と困惑する事態に直面することもあるが、それをも含めて毎日が楽しく、他の役員もそうに違いない、常に役員室には笑い声が絶えない。

およそ自身の弁護士業務のみでは知り得なかった人達に巡り合い、また改めて弁護士会を取り巻く様々な事象に触れ、大袈裟なようだが世の森羅万象に目を開かれる思いである。また、ご信頼する会長、筆頭をはじめとする個性的な役員のお仲間や職員の皆様と正に一期一会の有り難いご縁を頂き「チーム上田」として真剣に議論し取り組む時間や施策を形にする作業は、私が今まで歩んできた道の道とも全く異なる新鮮な驚きや刺激そして多くの学びに満ちている。

結果、一人では到底実現できない事業がチームの不思議な「化学反応」の過程を経て結実していく様を見るにつけ、私は日々驚きと共に深い喜びと感謝を感じており、ここで得た学びや経験は今後、弁護士として人としての力となり、必ず活きると感じている。

3 今、大切に感じていること

さて、ここで、私が本年度執行部の美徳と感じている点と、会務に関する新たな気づきについてご紹介したいと思う。

① 時間管理と傾聴

私たち「チーム上田」では、週に二回の理事者会で、議論が定刻を超え延々と行われることは、ほぼ皆無である。昨今、会議を時間内に終了させることは、若手会員等の会務参加を容易にし、会内ダイバーシティ促進のためにも非常に重要である。本年度理事者は皆個性的で一家言あるメンバーばかりだが、どんなに議論が白熱しても、このルールは暗黙の内に守られる。また理事者会には、理事者と調査室と広報室の嘱託各1名、事務局が出席するが、輪番の司会者は必ず適時適任者が発言できるよう配慮し、誰かが延々自説を展開したり他者を遮って発言することはなく、まず「聞く」。これは私が本執行部で美徳と感じている点であり、結果、会議の時間内終了は勿論、和やかで充実した議論が行われている。この点は会務や仕事のあらゆる場面で基本であるが、今般改めて教えられている。

② 会務の継続性と弁護士自治を保つために

就任して初めて認識したが、歴代役員の方々は、実にさり気なく様々な場面で役員退任後も継続して会務に関わり、正に「チーム東弁」として支え協力して下さっている。会務に精通する方々が、役員退任後も大きな愛情で、職員と共に一丸となって現役員や会務を支えて下さるからこそ、会務の継続的運営は可能となり弁護士自治も堅持されていると気づき、深謝している。

残された僅か数か月、相変わらず微力の身だが、虎穴虎子の精神で、楽しみつつ「チーム上田」の一員として最善を尽くしたい。